

日本タンザニア友好親善パーティ in 京都
タンザニア駐日大使 バラカ ルヴァンダ ご挨拶

京セラ株式会社 代表取締役会長
山口 悟朗 様

タンザニアフィリア有限会社 代表
清水 邦子 様

ゲストの皆様

ご友人の皆様

紳士 淑女の皆様

すでにメディア等でご存知の方もおられるかもしれませんが、駐日タンザニア連合共和国大使のバラカ ルヴァンダと申します。

私が東京に到着したのは2021年12月1日のことで、インド・ニューデリーでの大使の仕事を終えた直後の着任となりました。日本での生活もうすぐ2年になります。

今夜はこのパーティで皆様への歓迎のご挨拶をさせていただくこととなりました。今日の集いの目的はもちろんワインと食事を楽しむということですので、豪華なお食事を前に皆様があまりお腹が空いてしまうということがないよう、手短にお話させていただきます。

まず初めに、今夜のイベントの実現のため多大な努力をしていただいた清水邦子さんに心よりお礼を申し上げたいと思います。この日のために多くの時間を使って準備してくださった邦子さんにはなんとお礼を申し上げたらよいかわかりません。

邦子さんには他にもお礼を言うべき理由があるのです。

2021 年 12 月に来日して、すぐに私はこのタンザニアの偉大なる友人である彼女に出会いました。

私の記憶が確かであれば、2022 年 3 月にお会いした際に、いろいろなお話を交えとても素晴らしいひと時を過ごしました。そして邦子さんが長年にわたり、数多くのタンザニアのブランディングの仕事をされてきたことを知るに至り感銘を受けたのです。

ティンガティンガ展やその他のタンザニアアートを通じて、大使館がしてきたこと以上に邦子さんにはこれまでタンザニアのプロモーションにご尽力いただきました。

すでにご承知のように、今年もティンガティンガ展が10月23日から11月12日まで開催されます。これまでの活動に対し、あらためて、お礼を申し上げたいと思います。

紳士 淑女の皆様

2022 年 5 月に邦子さんにお目にかかった際には、2000 年から 2009 年まで大使であった Elly E. E. Mtango 大使時代より培われてきた長きにわたる大使館と京セラとの関係について話を聞きました。

邦子さんとは Mtango 大使の話を数多くさせていただきました。Mtango 大使は私にとってメンターです。

そしていつも彼のことを深く尊敬しています。Mtango 大使の数多くの大使時代の功績の中でも、特に皆様にお伝えしたいのは京セラの創業者である稲盛和夫先生の名作である『成功への情熱』をスワヒリ語に翻訳されたことと言えましょう。稲盛先生の御霊が安らかでありますように。アーメン。

この名作はタンザニア人だけではなく、地域を超え同じスワヒリ語を話す人々の人生に変化をもたらす大きな影響を与えました。

私はこの名作の英語とスワヒリ語版両方を大事に手にして、日々の大切な参考書として何度も読み返しています。多くの読者がそう感じたように、私にとって稲盛先生の著作は、心に刻むべき自分を導くインスピレーションな教えだと感じています。

友人の皆様

紳士 淑女の皆様

この場を借りまして、京セラが長年にわたってタンザニアのためにご尽力いただいたことに対して、心からのお礼を申し上げたいと思います。タンザニアの小学校への太陽光発電システムの寄贈をはじめとした、多くのご支援を通じ、子供たちの学習環境がめざましく改善しました。太陽光は学校の教室に灯りをもたらしただけでなく、多くの子供たちの笑顔の花を咲かせました。

紳士 淑女の皆様

さて、本日は皆様にタンザニアの豊かな歴史とユニークな観光名所について知っていただく機会でもあります。

タンザニアに行ったことがある方でも新しい発見があり、また行きたくなることでしょう。

大使館職員の白井さんが後ほどプレゼンテーションしてくれる予定です。

改めまして、自然豊かなタンザニアに皆様を歓迎いたします。わが国には高さ 5,895m あるアフリカ最高峰のキリマンジャロがあり、広大なセレンゲティ国立公園、クレーターでできているンゴロンゴロ、リラックスできるザンジバルの素敵なビーチがあります。

最後に、タンザニアにはフレンドリーで温かいひとたち、理想的な環境があり、観光だけでなく投資にも良い国であるということをお伝えしたいです。

ですので、是非みなさまもタンザニアの人々の温かさ、おもてなしの精神を体験しに遊びにきてください。

今夜は楽しいひと時を京都で一緒にいたしましょう。

ありがとうございました。